

第71回国民体育大会陸上競技大会北海道選手選考会開催要項

1. 主催 (一財)北海道陸上競技協会 (公財)北海道体育協会
2. 主管 (一財)札幌陸上競技協会
3. 後援 文部科学省 (公財)日本体育協会 北海道教育委員会 札幌市 札幌市教育委員会
(一財)札幌市体育協会
4. 協賛 日本自転車振興会 (株)アシックス
5. 期日 平成28年8月13日(土)～8月14日(日) 9時競技開始
6. 場所 札幌市厚別公園陸上競技場
〒004-0033 札幌市厚別区上野幌3条1丁目2番1号 Tel 011-894-1144
7. 種目及び標準記録

(男子)

(女子)

種目	標準記録	種目	標準記録	種目	標準記録	種目	標準記録	種目	標準記録
【成年】		【少年A】		【少年B】		【成年】		【少年B】	
100m	11" 30	100m	11" 50	100m	11" 80	100m	13" 20	100m	13" 40
400m	52" 80	400m	53" 90	3000m	9' 50" 00	400m	1' 02" 30	800m	2' 32" 00
800m	2' 05" 00	5000m	16' 50" 00	走幅跳	5m90	800m	2' 29" 80	100mYH	17" 50
110mH	16" 30	400mH	1' 01" 50	砲丸投		5000m	17' 42" 00	0.762m	
400mH	59" 70	棒高跳	4m00	(5kg)	10m50	100mH	17" 08	8.5m	
10000mW	56' 00" 00	走幅跳	6m40	(6kg)	10m00	5000mW	30' 00" 00	走幅跳	4m60
走高跳	1m80	ハンマー投	34m00			走高跳	1m45	砲丸投	8m50
走幅跳	6m40	(6kg)		【少年共通】		棒高跳	(フリー)	(4kg)	
円盤投	28m10	やり投	46m00	800m	2' 07" 00	三段跳	10m30	【少年共通】	
やり投	50m20			110mJH	18" 80	ハンマー投	(フリー)	1500m	5' 10" 80
				0.990m		やり投	35m00	棒高跳	(フリー)
				9.14m				三段跳	(フリー)
				5000mW	29' 00" 00	【少年A】		円盤投	25m10
				走高跳	1m75	100m	13" 30	やり投	30m00
				三段跳	13m20	400m	1' 05" 00		
				円盤投	33m00	3000m	11' 50" 00		
						400mH	1' 12" 50		
						走幅跳	4m75		

※成年女子800m・5000mW・走高跳には少年Aからもエントリーできる。但し、各都道府県からエントリーできるのは、成年女子または少年女子A、いずれかの1名のみとする。

8. 年齢基準 (1) 成年の部に参加できる競技者は、平成10年4月1日までに生まれた者。
(2) 少年Aの部に参加できる競技者は、平成10年4月2日以降、平成12年4月1日までに生まれた者。
(3) 少年Bの部に参加できる競技者は、平成12年4月2日以降に生まれた者(但し中学生は、3年生)。
9. 競技規則 平成28年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則による。
10. 参加資格 平成28年度(公財)日本陸上競技連盟登録者。
(1) 標準記録に到達している者。
(2) 標準記録到達が原則であるが、ア～ウの種目に限り、下記の記録に到達している者は参加を認める。
ア、少年男子B 3000m は、1500m(4' 25" 00)・5000m(17' 00" 00)
イ、成年女子5000mは、3000m(11' 10" 00)
ウ、少年女子A 3000m は、1500m(5' 20" 00)
(3) 公認記録証は、平成27年4月1日より本大会申込み締め切り日までとする。
(4) 北海道陸協強化委員会から特別に推薦のあった競技者。
11. 参加制限 一人2種目までとする。
12. 表彰 8位までの入賞者に賞状を授与する。
13. 申込方法 個人情報について、大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。
(1) 各所属団体・学校・個人
① 道陸協HPまたは札幌陸協HPからファイル(参加提出書類)をダウンロードする。
② 申込一覧表(様式1)・所属別納金表(様式5)・希望審判名簿(様式6)に必要な事項を記入または入力・印刷して参加料とともに各地方陸協に提出する。

- (2) 各地方陸協
- ① 道陸協HPまたは札幌陸協HPからファイル(陸協集約ファイル、H28電子データ)をダウンロードする。
 - ② 各所属団体・学校・個人から提出された書類をもとに、種目別参加人数一覧表(様式3)・納金一覧表(様式4)・希望審判名簿(様式6)・H28電子データを作成する。
 - ③ 必要書類(様式1,3,4,6)を大会事務局に郵送、H28電子データは電子メールにファイルを添付し送信する。(その際、様式1との確認を必ず行う。)参加料は下記指定の口座に振り込む。
- (3) 北海道学連登録者は、学校単位で北海道学連へ申込み、北海道学連が一括して大会事務局へ申し込む。
- (4) 北海道以外の大学については、各大学で大会事務局へ申し込むこと。
- (5) 書類送付先(様式1,3,4,6)

〒064-0931 札幌市中央区中島公園1番5号 TEL・FAX 011-532-2471
 札幌市中島体育センター内 札幌陸上競技協会
 国体北海道予選大会事務局 宛
 電子メール送信先 sappororiku@yahoo.co.jp

- (6) 参加料
- | | | |
|-----|-----------|-----------|
| 中学生 | 1種目1,500円 | 2種目2,500円 |
| 高校生 | 1種目2,000円 | 2種目3,000円 |
| 一般 | 1種目3,000円 | 2種目4,500円 |

※ 上記参加料の他に国民体育大会参加負担金及び傷害補償制度加入負担金2,500円が加算されます。

送金先 ゆうちょ銀行 口座記号番号 **02790-0-101525**
 加入者名 一般財団法人 札幌陸上競技協会

- (7) 申込締切日 平成28年7月20日(水)
※各地方陸協でまとめて、期限厳守で申し込むこと。

14. ナンバーカード ナンバーカードは、1組300円で購入願います。(申し込み時に参加料、負担金とともに納入してください。)
15. その他
- (1) ナンバーカード・プログラムは、大会前日8月12日(金)13時から17時までで、札幌市厚別公園陸上競技場で配布します。
 - (2) 競技中に発生した障害・疾病について応急処置は主催者側にて行いますが、以後の責任は負いません。
 - (3) 競技場は、大会前日の9時から17時まで開放する(時間厳守。用器具等は各自が責任を持って返却すること)。
 - (4) 《お願い》引率の先生には審判をお願いすることになります。地方陸協ごとに希望審判名簿(様式6)に記載の上、ご協力願います。(参加のチームは必ず1名以上審判員を出すよう、ご協力ください。)
 - (5) 申し込み後にやむなく棄権する場合、その理由書および証明書を大会事務局に速やかに届け出てください。
 - (6) 北海道陸協ホームページ <http://hokkaido-rikkyo.jp/>
 札幌陸協ホームページ http://www.h2.dion.ne.jp/~s_rikujo/
 - (7) 「ふるさと選手制度」について～道外に居住する学生で「国民体育大会」へ北海道代表選手として出場希望する選手は「ふるさと登録届」が必要になります。詳しくは、北海道陸協へ問い合わせてください。TEL 011-598-7407

(8) 1日目実施種目

男子：成年 100m 800m 400mH 走高跳 円盤投 やり投
 少年A 100m 400mH 棒高跳 やり投 少年B 100m 3000m 砲丸投
 少年共通 800m 走高跳 三段跳
 女子：成年 100m 800m 棒高跳 三段跳 やり投
 少年A 100m 3000m 400mH 走幅跳 少年B 100m 800m 走幅跳 砲丸投
 少年共通 棒高跳 三段跳 やり投

※上記の日程は確定ではありませんので変更があった場合は後日訂正版を掲載しますのでご注意ください。

- (9) 宿泊の斡旋は行いません。各選手、チームでの手配をお願いします。

競 技 日 程

第 1 日 目 8 月 13 日 (土)

ト ラ ッ ク						
順序	種 目		組一着	競技開始時刻	招集組	招 集 時 間
1	少年A男	4 0 0 m H 予選	4 組 3 + 4	9 : 0 0	1 ~ 3 4 ~ 5	(8 : 3 5 ~ 8 : 4 5)
2	少年A女	4 0 0 m H 予選	3 組 2 + 2	9 : 2 0		(8 : 5 5 ~ 9 : 0 5)
3	少年共男	8 0 0 m 予選	5 組 2 + 6	9 : 4 0		(9 : 1 5 ~ 9 : 2 5)
4	少年B女	8 0 0 m 予選	2 組 3 + 2	1 0 : 0 5	1 ~ 4 5 ~ 7	(9 : 3 0 ~ 9 : 4 0)
5	少年B男	1 0 0 m 予選	5 組 4 + 4	1 0 : 2 0		(9 : 4 0 ~ 9 : 5 0)
6	少年B女	1 0 0 m 予選	3 組 2 + 2	1 0 : 3 5		(9 : 5 5 ~ 1 0 : 0 5)
7	少年A女	1 0 0 m 予選	5 組 4 + 4	1 0 : 4 5		(1 0 : 1 0 ~ 1 0 : 2 0)
8	少年A男	1 0 0 m 予選	7 組 3 + 3	1 1 : 0 0		(1 0 : 2 0 ~ 1 0 : 3 0)
9	成年男	1 0 0 m 予選	2 組 3 + 2	1 1 : 2 5		(1 0 : 3 5 ~ 1 0 : 4 5)
10	少年A男	4 0 0 m H 準決勝	2 組 3 + 2	1 1 : 3 5		(1 0 : 4 5 ~ 1 0 : 5 5)
11	成年男	1 0 0 0 m W 決勝		1 1 : 5 0		(1 1 : 0 0 ~ 1 1 : 1 0)
12	少年共男	8 0 0 m 準決勝	2 組 3 + 2	1 2 : 5 5	(1 1 : 2 5 ~ 1 1 : 3 5)	
13	少年B男	1 0 0 m 準決勝	3 組 2 + 2	1 3 : 1 0	(1 2 : 3 0 ~ 1 2 : 4 0)	
14	少年A女	1 0 0 m 準決勝	3 組 2 + 2	1 3 : 2 5	(1 2 : 4 5 ~ 1 2 : 5 5)	
15	少年A男	1 0 0 m 準決勝	3 組 2 + 2	1 3 : 4 0	(1 3 : 0 0 ~ 1 3 : 1 0)	
16	少年A女	3 0 0 0 m 決勝	2 組タイムレース	1 3 : 5 5	1 2	(1 3 : 1 5 ~ 1 3 : 2 5)
17	少年B男	3 0 0 0 m 決勝		1 4 : 1 5		(1 3 : 3 0 ~ 1 3 : 4 0)
18	少年A女	4 0 0 m H 決勝		1 4 : 5 0		(1 3 : 5 0 ~ 1 4 : 0 0)
19	少年A男	4 0 0 m H 決勝		1 5 : 0 0		(1 4 : 0 5 ~ 1 4 : 1 5)
20	成年男	4 0 0 m H 決勝		1 5 : 1 0		(1 4 : 2 5 ~ 1 4 : 3 5)
21	少年B女	1 0 0 m 決勝		1 5 : 2 0		(1 4 : 3 5 ~ 1 4 : 4 5)
22	少年B男	1 0 0 m 決勝		1 5 : 3 0		(1 4 : 4 5 ~ 1 4 : 5 5)
23	少年A女	1 0 0 m 決勝		1 5 : 4 0		(1 4 : 5 5 ~ 1 5 : 0 5)
24	少年A男	1 0 0 m 決勝		1 5 : 5 0		(1 5 : 0 5 ~ 1 5 : 1 5)
25	成年女	1 0 0 m 決勝		1 6 : 0 0		(1 5 : 1 5 ~ 1 5 : 2 5)
26	成年男	1 0 0 m 決勝		1 6 : 1 0		(1 5 : 2 5 ~ 1 5 : 3 5)
27	少年B女	8 0 0 m 決勝		1 6 : 2 0		(1 5 : 3 5 ~ 1 5 : 4 5)
28	少年共男	8 0 0 m 決勝		1 6 : 3 0		(1 5 : 4 5 ~ 1 5 : 5 5)
29	成年女	8 0 0 m 決勝		1 6 : 4 0		(1 5 : 5 5 ~ 1 6 : 0 5)
30	成年男	8 0 0 m 決勝		1 6 : 5 0		(1 6 : 0 5 ~ 1 6 : 1 5)

フ ィ ー ル ド < 跳 躍 >						
順序	種 目			競技開始時刻	人数	招 集 時 間
1	少年A女	走 幅 跳	決勝	9 : 0 0	24名	(8 : 2 0 ~ 8 : 3 0)
2	成年女	棒 高 跳	決勝	9 : 3 0	1名	(8 : 2 0 ~ 8 : 3 0)
	少年共女	棒 高 跳	決勝	9 : 3 0	14名	(8 : 2 0 ~ 8 : 3 0)
2	成年男	走 高 跳	決勝	9 : 3 0	5名	(8 : 2 0 ~ 8 : 3 0)
3	少年B女	走 幅 跳	決勝	1 1 : 1 5	20名	(8 : 5 0 ~ 9 : 0 0)
4	少年共男	三 段 跳	決勝	1 3 : 1 5	11名	(1 0 : 3 5 ~ 1 0 : 4 5)
5	少年A男	棒 高 跳	決勝	1 4 : 0 0	9名	(1 2 : 3 5 ~ 1 2 : 4 5)
5	少年共男	走 高 跳	決勝	1 4 : 0 0	31名	(1 2 : 5 0 ~ 1 3 : 0 0)
6	成年女	三 段 跳	決勝	1 5 : 0 0	4名	(1 3 : 2 0 ~ 1 3 : 3 0)
	少年共女	三 段 跳	決勝	1 5 : 0 0	13名	(1 4 : 2 0 ~ 1 4 : 3 0)

フ ィ ー ル ド < 投 て き >						
順序	種 目			競技開始時刻	人数	招 集 時 間
1	少年B女	砲 丸 投	決勝	9 : 0 0	10名	(8 : 2 0 ~ 8 : 3 0)
1	成年男	円 盤 投	決勝	9 : 0 0	10名	(8 : 2 0 ~ 8 : 3 0)
2	少年B男	砲 丸 投	決勝	1 1 : 0 0	19名	(8 : 2 0 ~ 8 : 3 0)
3	成年女	や り 投	決勝	1 1 : 3 0	2名	(1 0 : 2 0 ~ 1 0 : 3 0)
	少年共女	や り 投	決勝	1 1 : 3 0	20名	(1 0 : 5 0 ~ 1 1 : 0 0)
4	成年男	や り 投	決勝	1 4 : 3 0	6名	(1 0 : 5 0 ~ 1 1 : 0 0)
	少年A男	や り 投	決勝	1 4 : 3 0	18名	(1 3 : 5 0 ~ 1 4 : 0 0)

第2日目

8月14日(日)

ト ラ ッ ク						
順序	種 目		組一着	競技開始時刻	招集組	招 集 時 間
1	少年共女	1 5 0 0 m 予選	2組 4 + 4	9 : 0 0	1 ~ 4 5 ~ 7	(8 : 3 5 ~ 8 : 4 5)
2	少年A女	4 0 0 m 予選	4組 3 + 4	9 : 2 0		(8 : 5 5 ~ 9 : 0 5)
3	少年A男	4 0 0 m 予選	7組 3 + 3	9 : 4 0		(9 : 1 5 ~ 9 : 2 5)
4	少年共男	1 1 0 m J H 予選	4組 3 + 4	1 0 : 1 5	1 2	(9 : 3 0 ~ 9 : 4 0)
5	少年B女	1 0 0 m Y H 予選	3組 2 + 2	1 0 : 3 5		(9 : 5 0 ~ 1 0 : 0 0)
6	成年女	5 0 0 0 m W 決勝		1 0 : 5 0		(1 0 : 1 0 ~ 1 0 : 2 0)
	少年共男	5 0 0 0 m W 決勝				(1 0 : 2 5 ~ 1 0 : 3 5)
7	少年A女	4 0 0 m 準決勝	2組 3 + 2	1 1 : 3 0		(1 1 : 0 5 ~ 1 1 : 1 5)
8	少年A男	4 0 0 m 準決勝	3組 2 + 2	1 1 : 4 0		(1 1 : 1 5 ~ 1 1 : 2 5)
9	少年共男	1 1 0 m J H 準決勝	2組 3 + 2	1 2 : 0 0		(1 1 : 3 5 ~ 1 1 : 4 5)
10	成年女	5 0 0 0 m 決勝		1 2 : 1 5		(1 1 : 5 0 ~ 1 2 : 0 0)
11	少年共男	5 0 0 0 m 決勝	2組タイムレース	1 2 : 1 5		(1 1 : 5 0 ~ 1 2 : 0 0)
12	少年共女	1 5 0 0 m 決勝		1 3 : 0 0		(1 2 : 1 0 ~ 1 2 : 2 0)
12	少年B女	1 0 0 m Y H 決勝		1 3 : 1 5		(1 2 : 3 5 ~ 1 2 : 4 5)
13	成年女	1 0 0 m H 決勝		1 3 : 2 5		(1 2 : 5 0 ~ 1 3 : 0 0)
14	少年共男	1 1 0 m J H 決勝		1 3 : 3 5		(1 3 : 0 0 ~ 1 3 : 1 0)
15	成年男	1 1 0 m H 決勝		1 3 : 4 5		(1 3 : 1 0 ~ 1 3 : 2 0)
16	少年A女	4 0 0 m 決勝		1 4 : 0 0		(1 3 : 2 0 ~ 1 3 : 3 0)
17	少年A男	4 0 0 m 決勝		1 4 : 1 0		(1 3 : 3 5 ~ 1 3 : 4 5)
18	成年女	4 0 0 m 決勝		1 4 : 2 0		(1 3 : 4 5 ~ 1 3 : 5 5)
19	成年男	4 0 0 m 決勝		1 4 : 3 0		(1 3 : 5 5 ~ 1 4 : 0 5)
						(1 4 : 0 5 ~ 1 4 : 1 5)
フ ィ ー ル ド <跳 躍>						
順序	種 目			競技開始時刻	人数	招 集 時 間
1	少年B男	走 幅 跳 決勝		9 : 0 0	20名	(8 : 2 0 ~ 8 : 3 0)
2	成年女	走 高 跳 決勝		1 0 : 0 0	17名	(9 : 2 0 ~ 9 : 3 0)
3	成年男	走 幅 跳 決勝		1 2 : 0 0	5名	(1 1 : 2 0 ~ 1 1 : 3 0)
	少年A男	走 幅 跳 決勝		1 2 : 0 0	22名	(1 1 : 2 0 ~ 1 1 : 3 0)
フ ィ ー ル ド <投 て き>						
順序	種 目			競技開始時刻	人数	招 集 時 間
1	成年女	ハンマー投 決勝		9 : 0 0	2名	(8 : 2 0 ~ 8 : 3 0)
	少年A男	ハンマー投 決勝		9 : 0 0	16名	(8 : 2 0 ~ 8 : 3 0)
2	少年共女	円 盤 投 決勝		1 1 : 0 0	22名	(1 0 : 2 0 ~ 1 0 : 3 0)
3	少年共男	円 盤 投 決勝		1 3 : 0 0	14名	(1 2 : 2 0 ~ 1 2 : 3 0)

大会役員

名誉大会長	(公財)北海道体育協会会長	堀 達也
大会長	(一財)北海道陸上競技協会会長	岡部 壽一
副大会長	(一財)北海道陸上競技協会副会長	杉野睦夫 瀬尾広志 渡邊 清
		八田盛茂
	(一財)札幌陸上競技協会会長	品田吉博
顧問	札幌市長	秋元克広
	(一財)北海道陸上競技協会顧問	櫻庭辰弥 竹花迪務 斎藤修弥
		松田顕二 宮田貴美人 菅谷 蕃
		林 義寛 相澤 要 宮坂寿文
		張江悌治 柿本弘之
	(一財)札幌陸上競技協会顧問	在家孝一 宮田貴美人 勝木省三
		藤井英嘉 岩本剛人
参与	札幌市教育委員会教育長	長岡豊彦
	(一財)札幌市体育協会会長	霜 觸 寛
	(一財)北海道陸上競技協会評議員	佐竹 聡 日村 一 上村 卓
		石栗 強 品田吉博 野澤孝志
		小林 正 飯塚享良 川崎信介
		八幡宏弥 内藤 聡 鈴木克知
		小山里司 佐藤芳明 金子博之
		倉 隆久
	(一財)北海道陸上競技協会参与	山田富雄 鈴木 博 隼人健児
		出村勝彦 米谷元捷 八幡一志
		青山圭男 長谷川光彦 伊藤三雄
		幅田 亮 井内石生 高橋國男
		田中 實 飯田敏光 大津秀夫
		小林 博 今田博敏 佐々木 匠
		佐藤好男 藤堂英一朗 森 勝義
		成瀬穎男 森部 隆 志和秀和
		中村利秋 進 基
	(一財)北海道陸上競技協会地方協会会長	櫻庭辰弥 八田盛茂 神島博之
		志田修二 品田吉博 佐藤吉治
		石割恒彦 宮本 儔 宮坂寿文
		張江悌治 柿本弘之

大会委員

大会委員長	(一財)札幌陸上競技協会会長	品田吉博
副大会委員長	(一財)北海道陸上競技協会専務理事	橋本秀樹
	(一財)札幌陸上競技協会専務理事	志田幸雄
大会委員	(一財)北海道陸上競技協会理事	平井秀昭 奥田善和 志賀正人
		米澤 勝 丸 昇 大道裕昭
		森越 治 新井田 守 万年和紀
		渡辺剛成 大田政吉 山村 修
		高橋 巧 中島正樹 田中真路
		菅原 誠
	(一財)北海道陸上競技協会監事	堤 正和 佐藤吉治
	(一財)札幌陸上競技協会副会長	恩村一郎 高見新造 蓑嶋和央
	(一財)札幌陸上競技協会副専務理事	青山清美 中村富士雄
	(一財)札幌陸上競技協会常任理事	赤松幸広 井上晃男 井上智雄
		斉藤一幸 志田光瑞 高橋 豊
		玉井清史 柳田 進
	(一財)札幌陸上競技協会理事	安曇範子 大町和敏 岡村美穂子
		小川秀一 駒澤 博 小西淳一
		小森 勝 佐藤光司 佐藤芳明
		竹居田幸藏 田中博子 堤 裕之
		平野伸也 南山雅礼 山岸正直
		安岡行雄 畑 耕太郎
	(一財)札幌陸上競技協会監事	澤田義盛 田川芳紀

大会事務局

事務局 長	志田幸雄
事務局 次長	高橋 豊
事務局 員	新井田 守 玉井清史 齊藤一幸 志田光瑞 平野伸也
	遠藤典泰 桂 讓 小川秀一 竹居田幸藏 井上晃男

競 技 役 員

総務	志田幸雄								
副総務	高橋豊								
総務員	玉井清史(全)	上村卓(ト)	平野伸也(脚)	竹居田幸蔵(段)	志田光瑞(脚)				
技術総務	澤田義盛								
ジュリー	恩村一郎	蓑嶋和央	万年和紀						
トラック審判長	高見新造								
スタート審判長	新井田守								
跳躍審判長	田川芳紀								
投擲審判長	斉藤登世彦								
アナウンサー	(注)安曇範子								
	渋谷俊之	平林和樹	小川将	斉藤美穂	本間一徳	永井大志			
	伊藤浩紀								
報道係	(注)楯石英雄								
記録員	(注)薄昇								
	川上重子	芳賀雪枝	千葉順世						
情報処理員	(注)斉藤一幸								
・番組編成員	村瀬大輔	幅崎雅仁	井上晃男	秋田映子	鎌田幸枝	河邊清一			
	玉井康夫								
医務員	村上幸	不京さくら							
公式計測員	吉田牧人								
用器具係	(注)岩渕論								
	吉田牧人(脚)	島敏昭	山本愛	田澤好志	藤根淳一	藤井保			
競技者係	(注)小川秀一								
	大脇徳芳	後藤洋	渡邊啓	遠藤和明	高野賢一	牧野幸雄			
役員係・庶務係	(注)岩間富子								
	斉藤泰子	高橋末野							
マージャー	(注)高橋國男								
	木村潔	宮川八作	山中了						
風力計測員	(注)中村富士雄								
	小林孝和	佐藤元信	中脇信司	加藤勉	高橋央匡				
表彰係	(注)土居昌彦								
	足立亨	佐藤暢紀	森雅義(脚)						

写真判定員 (㊟)西川 剛
 豊川洋人 佐々木規仁 長谷川 諭 田端 修 和田恒弥 泉 卓也
 石井虹乃華

監察員 (㊟)西巻秀仁 (㊟)世良田弘治
 楠 貞夫 田中政市 早崎 勝 依田芳吏 吉田憲昭 関根慎治
 鈴木基代司 坂本元春 佐々木昌博 重堂智之

スターター・リコーラー (㊟)遠藤典康 (㊟)竹田安宏
 砂金珠恵 稲場康典 金子秀彰 高澤 健 肥田政博 安原晃司
 吉田武史 森田直史 小南和憲 桂 沙都志 金澤孝志 西川康秀

出 発 係 (㊟)谷 知樹 (㊟)及川善民
 川島慶太 佐々木 寛 小林 正 千葉 了 須貝鉦太 町 悠太郎
 照井香織 濱 圭佑

周回記録員 (㊟)吉田 茂
 浜田 樹 大井貴博 櫻庭洋樹 臼田暁史 竹林貴久夫 塩杉純司
 上 慎太郎

跳躍審判員 (㊟)赤松幸広 (㊟)野間一也 (㊟)中田光哉
 神 慶次郎 鎌田由紀子 高見朋宏 藤井貴浩 矢野慎吾 尾崎真澄
 日裏徹也 石館亮一 石田 勝 安倍典子 引地良夫 藤宮隆明
 石館 允 岩田 学 米澤 勝 野々村 毅 林 健太郎 京谷萌子
 関口勝彦 市川 聖

投擲審判員 (㊟)伊藤新太郎 (㊟)富樫 勝 (㊟)大垣 崇
 沼口悦子 畑山直輝 島田英憲 可香谷紀子 佐藤ゆうか 金谷昭仁
 小川卓也 瀧澤真実 石丸大介 武田克人 山下修平 石田白文
 山岡 久 菅野和明 齋藤仁利 佐藤 茂 山崎翔平

科学計測員 (㊟)青木 仁
 増田一章

競歩審判員 (㊟)森 雅義
 竹林貴久夫(兼) 肥田政博(兼) 竹田安宏(兼) 吉田 茂(兼) 金澤孝志(兼)
 伊藤浩紀(兼)

補助員係 (㊟)遠藤典康(兼)
 桂 讓 竹居田幸蔵(兼)

競 技 注 意 事 項

1. 本大会に適用する競技規則は、2016年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則及び本大会の申し合わせ事項により実施する。

2. 練習場および練習について

練習は指定された練習会場を使用する。その他、競技役員の指示に従うこと。

(1) 練習は、下記の通り、本競技場および補助競技場を使用できる。

① 大会前日の8月12日(金)は9時から17時まで使用できる。ただし、補助競技場では、棒高跳と投てき練習は一切禁止とする。

② 本競技場の前日の投てき練習について

円盤投 10時～11時、12時～13時、14時～15時

やり投 11時～12時、13時～14時、15時～16時

砲丸投は第3曲走路付近のクレピットを終日使用できる。ハンマー投の練習は禁止とする。

練習の際は、監督・顧問が必ず立ち合い、その管理、指導のもと、事故防止に努めること。

③ 大会当日の本競技場での練習時間は、8月13日(土)7時～8時、8月14日(日)7時～8時30分とする。投てき練習は、ハンマー投を除き、競技当日の種目に限り認める。それ以外の時間は、補助競技場を使用すること。

④ 補助競技場は両日とも7時から17時まで開放する。ただし、棒高跳と投てき練習は一切禁止とする。

⑤ その他、練習要領を別に掲げるので、その内容を確認の上、使用すること。

3. 競技者の招集について

(1) 招集場所は競技場第1ゲート付近に設ける。

(2) 招集開始時刻および招集完了時刻は、すべてその競技の開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。

種 目	招集開始時刻	招集完了時刻	種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	25分前	15分前	棒 高 跳	70分前	60分前
フィールド競技	40分前	30分前			

(3) 招集方法

① 競技者は、競技者招集所付近に掲示した出場競技者一覧表に競技者または代理人がチェックする(○で囲む)。

② 競技者は、出場種目の招集開始時刻までには招集所に集合する。プログラム記載の招集開始時刻より点呼確認を始め、招集完了時刻には各競技場所へ移動を開始する。

③ 招集場所での点呼に不在だった競技者は、当該競技種目を棄権したものとみなし処理する。

④ 代理人による招集所での点呼確認は原則認めない。他の種目と兼ねて出場する競技者は、その旨を競技者係に申し出て出場を確認する。

⑤ 当該競技を棄権する場合は、棄権届を競技者係に提出すること。

4. 競技場への入退場について

(1) 競技場への入場は、競技者係の誘導に従い、規律ある行動をすること。競技者以外はトラック、フィールドに立ち入ることはできない。また、本部前(メインスタンド下の通路)の通行は禁止とする。

(2) トラック競技出場者は、競技終了後、第2ゲートから退場する。

(3) フィールド競技出場者の退場は、当該競技役員・マーシャルの指示に従う。

5. ナンバーカードについて

(1) ナンバーカードは、交付された大きさのまま使用し、必ずユニフォームの胸背に確実に付けること。ただし跳躍競技の競技者は胸・背のいずれかで良い。

(2) トラック競技出場者は、腰ナンバーカードを招集所で受け取り、パンツ右側後方に付けること。フィニッシュ後、競技者係に返却すること。

(3) 3000m以上のトラック競技(競歩も含む)は、黄色のレーンナンバーカードを使用する。

6. 走路順・競技順について

(1) 予選におけるトラック競技の走路順、フィールド競技の試技順はプログラム記載どおりとする。

(2) 準決勝以降のトラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は番組編成員で公正に抽選し決定する。トラック競技において、プラス進出者を決める場合、同タイム者についてレーンの余裕範囲内で次のラウンドに進めるが、余裕がない場合は判定写真を拡大し、細部(電気計時1/1000)まで読み取り着差を判定する。判定が不可能な場合は本人または代理人によって抽選する。

7. 競技について

(1) 不正スタートをした競技者は1回で失格とする。

(2) スタート時の不適切行為は注意が与えられる。

(3) 事故防止のため、短距離走ではフィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)を走ること。

(4) 長距離種目において、1組の競技者が多い場合は、グループスタートを行う。

(5) 少年共通男子5000mWと成年女子5000mW、少年A男子5000m1組と成年女子5000mは、競技運営上の理由から、男女同時スタートとする。

(6) 少年共通男子5000m、少年B男子3000mは決勝タイムレースで実施する。組み分けは申告された記録により、上位と下位で分ける。

- (7) 助力については、競技場内での助力は禁止とするが、コーチングエリアやスタンドからの助言については、競技運営や他の競技者の競技の妨げにならない範囲で認める。また、コーチングエリアにおいて、映像機器を競技者に見せることができるが、競技者に手渡したり、競技者が操作したりしてはいけない。ミュージックプレイヤー・携帯電話・スマートフォン等の電子通信機器を競技場内に持ち込むことはできない。
- (8) トラック競技において、予選の棄権により、8名に満たない場合は、決勝の時間に行う。

8. 競技規定および方法について

2016年度日本陸上競技連盟規則によるものの他は、次の通りとする。

- (1) 少年B男子110mHのハードルの高さは0.991m、ハードル間の距離は9.14mとする。
- (2) 少年B女子100mHのハードルの高さは0.762m、ハードル間の距離は8.5mとする
- (3) 少年B男子砲丸投の砲丸の重さは、5.00kgとする。
- (4) 少年B女子砲丸投の砲丸の重さは、4.00kgとする。
- (5) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は下記の通りとする。

		練習	1	2	3	4	5	以降
走高跳	成年男子	1 m75	1 m80	1 m85	1 m90	1 m95	3 cm刻み	
	少年共通男子	1 m70	1 m75	1 m80	1 m85	1 m90	3 cm刻み	
	成年女子	1 m40	1 m45	1 m50	1 m55	3 cm刻み		
棒高跳	少年A男子	3 m60	3 m70	3 m80	3 m90	4 m00	以降10cm刻み	
	成年女子	2 m00	2 m20	2 m40	2 m60	以降10cm刻み		
	少年共通女子	2 m00	2 m20	2 m40	2 m60	以降10cm刻み		

※第1位決定のバーの上げ下げは、走高跳で2cm、棒高跳で5cmとする。

※天候その他の特殊条件によって変更する場合は、当該審判長が決定する。

9. その他

- (1) 競技に使用する用器具は、全て主催者が用意したものを使用する。ただし、やりは検定を受けて通ったものを使用できる。また、棒高跳用ポールに限り個人所有のものを使用できる。
- (2) 表彰については、各種目8位までの入賞者に賞状を授与する。ただし、表彰は3位までとし、結果発表後、該当選手はエントランスホールにただちに集合すること。4位から8位までの賞状は、エントランスホールに賞状置き場を用意するので、各自受け取ること。
- (3) ケガや体調不良に関しては、医務員を配置し、応急処置のみ行う。
- (4) テントの設置場所について
 - ① テントは、別に掲げられた決められた場所に設置すること。大会前日の設置や場所取りは一切禁止とする。なお、大会当日の場所取り（ロープなど）は認めるが、テント等は必ず撤収すること。また、テントは第3ゲート下物品庫に預けることはできるが、紛失・破損等があった場合の対応は一切できないので、注意すること。
 - ② 競技場裏スタンド下の場所取りは、競技場開放時間以降は認めるが、上記①と同様である。お互いに譲り合って使用すること。また、通路入口の設置は、通行の妨げとなるため、一切禁止する。
 - ③ 大会中の場所取り（ロープなど）は認めるが、テント等はすべて片付けること（置きっ放しはできない）。
 - ④ テントの設置には十分注意し、強風で飛ばされることのないようにすること。
- (5) ごみは各チーム、個人で持ち帰ること。
- (6) 貴重品の管理は各チーム、個人で責任を持って行うこと。